



平成28年10月25日

各 位

上場会社名 株式会社 カワタ
 代表者 代表取締役社長 白井 英徳
 (コード番号 6292)
 問合せ先責任者 取締役管理部門統括 白石 亙
 (TEL 06-6531-8211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成29年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,500	255	210	130	18.36
今回修正予想(B)	7,883	304	206	122	17.23
増減額(B-A)	△617	49	△4	△8	
増減率(%)	△7.3	19.2	△1.9	△6.2	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	9,088	603	602	825	116.58

平成29年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,300	600	510	320	45.19
今回修正予想(B)	16,000	580	460	280	39.54
増減額(B-A)	△1,300	△20	△50	△40	
増減率(%)	△7.5	△3.3	△9.8	△12.5	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	17,534	739	707	787	111.23

平成29年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,300	60	200	240	33.89
今回修正予想(B)	3,992	104	238	280	39.54
増減額(B-A)	△308	44	38	40	
増減率(%)	△7.2	73.3	19.0	16.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	4,545	194	183	152	21.49

平成29年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,800	180	330	340	48.01
今回修正予想(B)	8,000	180	330	340	48.01
増減額(B-A)	△800	0	0	0	
増減率(%)	△9.1	0.0	0.0	0.0	
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	8,916	250	344	291	41.20

修正の理由

【個別業績】

個別の第2四半期累計実績につきましては、前年度後半からの日本企業の業況判断の悪化に伴い、製造業の設備投資に対する慎重な動きが見られたことにより、売上高は、前回予想を308百万円下回る3,992百万円となる見込みです。一方、損益面におきましては、売上高減少に伴う売上総利益の減少を原価低減や諸経費の削減等でカバーし、営業利益は前回予想を44百万円上回る104百万円、経常利益は前回予想を38百万円上回る238百万円、四半期純利益は前回予想を40百万円上回る280百万円となる見込みです。

通期につきましては、日本経済は緩やかな回復基調ではあるものの、生産や輸出は横ばいの状況であり、設備投資の持ち直しの動きにも弱さが見られることより、売上高は前回予想を800百万円下回る8,000百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高減少に伴う売上総利益の減少を原価低減や諸経費の削減等でカバーすることにより、営業利益180百万円、経常利益330百万円、当期純利益340百万円と、前回予想から変更はしていません。

【連結業績】

連結の第2四半期累計実績につきましては、前述の個別業績の要因に加えて、中国や台湾の景気の減速による設備投資案件の減少、タイやインドネシア経済の回復遅れ等により、売上高は前回予想を617百万円下回る7,883百万円となる見込みです。損益面におきましては、売上高減少に伴う売上総利益の減少を原価低減や諸経費の削減等でカバーし、営業利益は前回予想を49百万円上回る304百万円となる見込みですが、急速な円高に伴う為替差損の発生等により、経常利益は前回予想を4百万円下回る206百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回予想を8百万円下回る122百万円となる見込みです。

通期につきましては、新興国経済の減速や米国の利上げの影響等、世界経済を取り巻く状況は不透明感が強まっており、当社におきましても、東アジアにおける景気減速、日本、東南アジアにおける景気回復の遅れ等により、売上高は前回予想を1,300百万円下回る16,000百万円となる見込みです。損益面におきましては、営業利益は前回予想を20百万円下回る580百万円、経常利益は前回予想を50百万円下回る460百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を40百万円下回る280百万円となる見込みです。

以上